

**リスクアセスメント & 作業手順書**

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策作業	会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日	作成者	小瀬 裕之
作業名称	TN坑口持込雪除雪(BHあり)	作業手順書	作成年月日 令和3年2月4日
使用機械 (具体的な名称・クワを記す)	トラック、ミニロータリー、車両停止装置または緩衝車両 ミニバックホウ(0.066m <sup>3</sup> )、3tセーフティローダンプ	現場責任者	高野 サイン
使用工具 機軸 (大き過ぎ等は 具体的な寸法を 記す)	スコップ、スノーダンプ、足場(ミニロータリー積み降ろし用)、塩カル、ツルハシ シャベル、シャベル補修工具、ガソリン	改正年月日	令和6年2月2日
保護具	ヘルメット、フォッキ、安全靴、手袋、雪管、黄旗又は赤色誘導棒、 <b>ピカボン</b>	作業順序	
免許・資格 (業)法(特)(理 特)の区別を記す	普通免許、車両高建設機械(整地関係)運転(技)	1	事前調査
作業人員 (当作業に関わる役 別と人員を記す)	責任者1人、作業員5人、監視員2~3人 合計 8~9 名	2	準備作業
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長) _____ 周知会実施日 _____ _____ _____ _____ _____	3	作業開始連絡
		4	規制流入
		5	排雪作業
		6	規制撤去
		7	作業終了連絡
		8	後片付け

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:あつたに発生しない (5年に1回程度) △:時々発生する (1年に1回程度) ×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	○△ △△ ×△	○× △× ××	○○ ○△、△○ ○×、△△、×△ △×、×△ ××	1:極めて小さい 2:かなり小さい 3:中程度 4:かなり大きい 5:極めて大きい	関係者に対する周知 関係者に対する指示 職長が確認 工事担当責任者が確認 十分に訓練をした対策が必要

0=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可 能 性	重 大 性	評 価 点	レ ビ エ ス ル ク	危険性・有害性の除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査(雪氷巡回等)	作業箇所確認 周辺安全確認	作業必要箇所の洗い出し、 危険ポイントの確認 路肩の除雪状況、 <b>周囲の 建造物の有無の確認 (積造物周りはスコップ)</b>						
準備作業(全員)	ミーティング 機械・道具の点検 作業箇所の確認	健康状態の確認 免許・資格等の確認 日常点検により機械・道具 の動作の確認 雪氷本部で当日作業箇所 と規制線の確認						
	積み込み	運搬車にミニロータリー バックホウ・道具・ガソリン 規制材を積み込む	トラックに立ち寄り、足場からキャタピ ラが外れ落下する。 <b>氷が滑りやすさとオーガが奥たまり溜る PG使用時、体の一部が挟まれる</b>	△	×	△×	4	積みこみ作業時は、誘導者を配置し低速でゆっくりと積み込む。 <b>氷が滑る様子を確認する 突進時の確認、確認している場合は半車に取替えて低速にする PG使用時は、途中から再び低速にする 積込者は、周囲の確認及び溜りも手触れされる危険がある</b>
作業開始連絡(責任者)	雪氷本部にて作業開始連絡	禁止規制の設置完了確認を し、工事車両出入口の位置の 確認。						
規制流入(運転手)	規制内へ流入	出入口の誘導員に従い、規 制内へ流入。	規制内流入を行うための速度を落と した際、後続車両に衝突される。	△	×	△×	4	流入箇所の手前からハザード・回転等で注意喚起を行いながら徐々に減速し、流入する。
排雪作業(全員)	ミニロータリーバックホウを 前方から降ろす。 作業場所へ移動 ミニロータリーで排雪	足場を使用しミニロータ リー、バックホウを低速進 行で降ろす。 車両の接近を確認したら、 監視員は雪管で合図する。 ミニロータリーで雪をTNの 中からTNの外へ向け降雪。	機械を降ろす時に足場から足を踏み 外し転落する。 スコップで雪を降雪している時に、 シュート方向を間違え、通行車両に あたる。 <b>ロータリーを用いてダンプに積込む 際、滑って後退等により手が滑る</b>	△	×	△×	4	足場をしっかり確認しながら低速度で機械を降ろ す。 作業前にシュート方向を確認する。また、作業方向を変える時は一 層作業を止め、再度シュート方向の確認を行う。 <b>ダンプ荷台に積込む際は、合図を確認し降雪を行うと共に立 上禁止区域に作業員がいた場合は、内掛け等を行う (状況によってベーン等を使用して緊急止めを行う)</b>
	手元作業	ミニロータリーで作業でき ないところは手元作業員の手 により除雪する。	スコップで雪を降雪している時に、 ミニロータリーに近づきすぎオーガに 巻き込まれる。	△	×	△×	4	作業開始を5m程度離し、ロータリーの位置を確認しながら 作業を行う。
	バックホウで作業	固まった雪等はバックホウ を使用して削っていく。	バックホウで作業中に作業に集中し なり、周りの作業員に気づかず接触 する。	△	×	△×	4	バックホウで作業をする時は監視員を配置し、放り範囲に作 業員が入らないように監視を行う。また、監視員も死角に入ら ないように立ち位置をオベと打ち合わせる。
	最終確認	責任者は路面状況を確認し 、必要であれば小決を散 布する。						
	片付け	ミニロータリーについての 雪をおとし、トラックまで回 送する。	ミニロータリーの雪を落とすためにオー ガに近づいた際に、排雪動でオーガが動き だし、オーガに手足を巻き込まれる。	△	×	△×	4	必ずミニロータリーのエンジンを切る。また、近づき際もエン ジンが切れていることを確認した後作業を行う。
		運搬車に足場を設置し、機 械を低速走行で積み込む。	機械を積み終わったときに、荷台か ら飛び降りけがをする	△	△	△△	3	荷台から降りる時はステップを利用し、ゆっくりと降りる。
規制撤去	規制内からの流出	規制内に規制から撤去す ることを連絡する。 規制内から撤去する方法を 全員で打ち合わせる。 誘導員がいる場合は、撤去 することを伝え、誘導員の 合図にて撤去する。	撤去する時に誘導員の合図の意図 を読み間違え、撤去した際に一般車 両と接触する。	△	×	△×	4	誘導員と打ち合わせをする時は、必ず運転手と誘導員で打 合せ、合図の方法を決める。
作業終了連絡	雪氷本部へ作業終了連絡	別の区間で作業をする時は、 都合を伝えてから作業を行う。						
後片付け	洗車・給油を行い車両を 片付ける	<b>機械の燃料・シャベル ン・動作確認を済ませる</b>						
※ 作業ができなかった箇所は本部に連絡し、別の作業方法等を検討する。								

**作業のポイント**



機械で作業できないところは人力で除

TNの中からTNの外へ向けて除雪

機械に巻き込まれないよう  
機械の前では作業しない!